

前期プログラミングを受けてみて、初めのころは毎週火曜日が嫌いになるくらいいつらく感じていた。今までの人生の中で Ruby のような本格的なものなどうけたことがなかったし、自分がプログラムを作成するなんて考えたこともなかったのが現実である。しかし、出来ないことが悔しくて毎回のレポートに一所懸命に取り組んでいるうちにその想いも一変していった。

当初はプログラムが理解しきれないためテスト免除を目指してレポートを血眼になって取り組んでいた。そのかいがあつてか、回数を積んでいくうち徐々に雰囲気がつかめ最近では周囲に追いつけてきたのではないかと思う。特に毎週金曜日に広瀬先生に見てもらっていた私にとって、先生と一方的でない会話が出来るようになったのが何よりも嬉しかった。出だしこそ遅れてしまったが、最近ではプログラムを作るのが楽しくてしょうがなく感じている。

第一印象で自身との間に壁を作ってしまったが、追いつけるようになってくると Ruby の良さを実感できるようになってきた。私でも出来るようなシンプルな文法で、多種多様なプログラムを作成することができることはよく考えてみるととても素晴らしいことだと思う。特に、検索プログラムの構造に私は魅力を感じた。様々な検索方法があり、次は何を用いて検索しようかと楽しみながら実行することが出来た。今までの授業で習ったものが私達の普段活用している電子辞書やカーナビの元になっていると考えると改めてこの基礎プログラムの偉大さが分かる。

また、Trr 試験にも力をいれ先日の試験では 232 点を取ることが出来た。2 年生になってから、自身の情報の知識やタイピング能力がどんどん向上しているように感じる。昨年の情報リテラシーも満足に出来ていない私にとって、今の現場は自分でも信じられない位の感激を覚える。これも夜遅くまで付き合ってくれた西村先生、出来ない私にアドバイスをしてくれた広瀬先生のおかげである。

今週からはグループワークということもあり、協調性を持ち互いに分からないところを補いあつていく必要がある。なかなか出来の悪い私だが、プログラムに取り組んできた努力と気持ちは誰にも負けない自信がある。その気持ちをもち皆の足をひっぱらないように努めていきたい。そして今まで習ってきたことを総活用し、他のグループに劣らないような素的なプログラムを皆で創りだしていけたらと思う。同様に色々なプログラミング言語を使いこなせるようになり、後期につながるような活動をしていきたい。